

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	十日町市発達支援センター			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年 2月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85名	(回答者数)	82名
○従業者評価実施期間	R6年 12月 11日 ～ R7年 2月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの評価として ・こどもの活動等のスペースが確保されていること ・こどもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画が作成されていること ・こどもの状態を保護者と伝え合い、共通理解ができていること などが良い点として評価されており、安心感を持って利用してもらっている	支援内容や児童発達支援計画の内容を丁寧に説明し、支援の効果や意図をその都度説明するようにしている。	今後も一人一人のニーズや課題を分析し、個々の支援について保護者に伝わるよう、丁寧な説明を心掛けて支援していく。
2	自由記載から、相談支援事業所、乳幼児健診（保健師）、療育相談・長岡療育園・たかき医院発達外来（医療）、就園先、就学先等との連携が取れている。	乳幼児健診からの繋ぎ（幼児健診等フォローアップ教室）で早期支援早期療育の実践に努めている。また、保護者の同意を得て就学までの連携をおこなうことで、途切れない支援体制を構築している。	引き続き各関係機関との連携を図り、途切れない支援体制を構築していく。
3	保護者勉強会、講演会、交流会等を開催し、保護者支援に努めている。	保護者に対し、年齢や特性に合わせた講演会や勉強会を開催し、個々に合わせた対応を知る機会を設けている。併せて交流会を行うことで、保護者同士で悩みの共有や情報交換をすることができる。	今後も定期的に教室に参加していただき、講話や交流会を継続していくことで、保護者支援のより一層の充実を図る。個別教室利用児の保護者も利用しやすいような工夫をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援へのニーズが多く、特に個別教室利用児の保護者が、他の保護者と交流する機会が限られている。	ペアレントトレーニング・ペアレントプログラムの開催日を小集団教室の日程に合わせて家族支援事業を実施しているため。	今後も個別教室利用者を含め、保護者同士が集まる機会についておたよりでの周知、イベント参加への積極的な声掛けをしていく。また、ペアレントプログラム・ペアレントトレーニングに幅広く参加してもらえるよう、個別に周知していく。
2			